

# 令和5年11月21日における職員団体との総務部長交渉に係る概要について

## 1 職員の処遇の改善

職員団体の 主な主張	○ 職員の士気を確保するためには、処遇の改善が必要である。
総務部長 の回答	○ 職員の処遇の改善については、引き続き努力する。

## 2 業務量に見合った職員定数の配置

職員団体の 主な主張	○ 職員の負担が増大していることを踏まえ、より一層の業務量縮減や人員配置が必要である。また、感染症や頻発する自然災害への対応を考慮すれば、応援に頼らない体制の強化が必要である。
総務部長の 回答	○ 人員配置については、職員の過度な負担となることがないように、正職員の前倒し採用や部局を超えた応援体制の構築、会計年度任用職員の増員など、できる限りの対応を行っている。 来年度の組織体制については、各部局長や各総合支庁長から十分に話を聞いた上で、仕事や組織の見直しを行いながら、必要なところに適切に人員を配置し、個別職場の改善に努めていく。